



「これからも道南の精神科医療に尽くしたい」と受賞を喜ぶ宮沢仁朗院長

# 精神科救急 55年間尽力

## 函館 亀田北病院に道社会貢献賞

函館市石川町の亀田北病院（宮沢仁朗院長）が、地域への精神科救急医療への長年の功績が認められ、本年度の道社会貢献賞を受賞した。

同院は、1963年開院

の亀田病院の分院。亀田病院は67年に精神科を開設し、道南の精神科救急医療に参画した。87年に現在地に精神科単科の分院として亀田北病院を開設し、98年に現在の道南精神科救急体制整

備事業に参画。55年にわたって精神科救急医療体制道南ブロック輪番に参加し、救急指定日は看護師や精神保健福祉士を増員配置して体制を整えている。

行政からの措置入院や裁判所、検察庁からの起訴前本鑑定などの要請にも協力し、2021年には精神科では道内唯一の新型コロナウイルス感染者専用病床を設けた。

宮沢院長(62)は、11月12日に札幌で行われた北海道医師会の会合で表彰状を受け取り、「思いやりと優しさをもって、懐の深いひだまりのような病院を目指したい。スタッフ一同、今後道南の精神科医療に尽くしていきたい」と話している。

(内田晶子)